

CSP-HORの概要



下妻 晃二郎
Kojiro Shimozuma, MD, PhD
k.shimozuma@gmail.com

立命館大学 生命科学部 生命医科学科 (医療政策・管理学)
Div of Health Services Res, Dpt of Biomed Sciences, College of Life Sciences,
Ritsumeikan University

July, 13, 2013@Tokyo Univ.

1

CSP-HORとは？

日頃から本支援事業の運営・研究にご協力いただき、感謝いたします。

- 設立母体:財団法人パブリックヘルスリサーチセンター(PHRF)
 - PHRFの設立目的:「**ストレスが心身の健康に及ぼす影響に関する研究**を行うとともに、その**成果を国民の疾病予防及び健康増進に反映**させることにより**国民保健の維持向上**に寄与すること」
- CSP-HORの歴史(17年！)
 - 1996年- 乳がん薬物療法臨床試験 NSASBC-01内の「**QOL評価小委員会**」として発足。その後、米国NSABP内の組織などを参考に発展。
 - 2000年- 乳がん臨床研究支援事業(CSPOR-BC)内の「**ヘルスアウトカムリサーチ小委員会**」として発足
 - 2004年- **対象を乳がん以外にも広げ、独立した組織**に発展

2

CSP-HORとは？(つづき)

■ ミッション

- **国民の健康・QOL(生活・生命の質)の向上や、医療経済的に納得・許容できる医療技術の確立に貢献する研究が活発に行われることを目指し、以下の事業を支援する。**
- 1. **ヘルスアウトカム研究の企画実施**
- 2. **ヘルスアウトカムに関わる研究方法論の研究**
- 3. **研究者に有益と考えられる情報を、インターネット・学会・論文や広報活動を通じて提供する**
- 4. **ヘルスアウトカム研究の質向上に必要な活動**

3

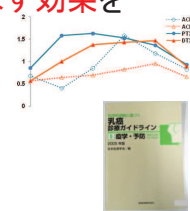
CSP-HORで行われてきた研究

- **健康アウトカム(QOL・副作用など)**
 - 乳がん薬物療法臨床試験内 7研究
 - HOR独自研究 21研究(欠番あり)
 - **英文原著 15本(試験付随7本、独自8本)**
- **医療経済**
 - 乳がん薬物療法臨床試験内 5研究
 - HOR独自研究 5研究
 - **英文原著 3本(独自3本)**
- **現在準備中、投稿中の英文論文多数**



健康アウトカム評価研究

■ 治療介入の、QOL/PROに及ぼす効果を定量的に測定・評価



■ 結果を医療現場や社会に還元

- 診療ガイドラインに反映
- 医療現場のコミュニケーションツールとしての応用



5

医療経済評価研究

1. 費用効果分析 cost-effectiveness analysis

費用/1単位の効果

2. 費用効用分析 cost-utility analysis

費用/1単位の効用*(QALY: Quality-adjusted life year)

$$QALYs = \sum_H Q_H \times L_H$$

H: 健康状態
Q_H: 健康状態HでのQuality Weight (Full health=1, Dead=0)
L_H: 健康状態Hでの生存年数
1QALY: 完全な健康状態で生存する1年

福田敬先生スライドより改変

■ 結果を医療現場や社会に還元

- 診療ガイドラインに反映
- 政策へ反映
 - 薬価の調整に応用
 - 医療資源配分に応用



6

CSP-HOR研究の目指す方向・課題

■ 健康アウトカム評価研究

- 基礎研究の充実
 - Responder definition (以前、MIDと呼んでいたもの)
 - Response shiftが解析に与える影響
 - 項目反応理論(Item response theory: IRT)を応用したComputer adaptive testing (CAT)
 - e-PRO
- 臨床研究の充実
 - 引き続き、臨床試験付随研究の成果のまとめ
 - 「**化学療法に起因する脱毛**」ケアのガイドライン作り(渡邊隆紀先生がPI)に注目
- **メディア媒体を通した、患者や国民への積極的な広報活動**

CSP-HOR研究の目指す方向・課題(つづき)

■ 医療経済評価研究

- 厚労省研究班(班長、福田敬先生)、文科省研究班(班長:下妻)と知識と技術を共有し、下記の課題にさらに取り組む。
- 医療資源配分の効率性と公平性(本日のテーマ)の基礎理論固め
 - 経済学的、倫理学的基礎理論のまとめ
- 得られたエビデンスの**政策への応用**
 - 医薬品、医療機器、医療行為の**適正な価格付け**への応用
 - 保険償還範囲決定への関与は？
- **メディア媒体を通した、患者や国民への積極的な広報**

- 今後とも、CSP-HORの活動に、
変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

